

保険仲立人テキスト2〔リスクマネジメント〕2025年版

訂正表

掲記テキストに誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。お手数ですが、該当箇所を下記に差し替えてご使用ください。

●P. 68 ②運送保険（貨物損害）の損害分布

誤

【A社の貨物の損害分布表】

5	7月15日	60（中央値）
	合 計	1,580

平均損害額＝1,580万円／10＝158万円

損害額の平均値は、158万円であるが、1件が1,000万円という高額の影響を強く受けており、1,000万円の損害額がなければ、平均値は64.4万円（580万円÷9＝64.4万円）となる。したがって、どの程度の損害が頻繁に発生するかを把握するには、代表値としては、平均値（158万円）よりも、中央値（60万円）や最頻値（40万円）を使用の方が適当である。ただし、損害額1,000万円の数値は、発生頻度が低くても、高額の影響が起これることを示している。

正

【A社の貨物の損害分布表】

5	7月15日	60
6	8月21日	70
	合 計	1,560

平均損害額＝1,560万円／10＝156万円

損害額の平均値は、156万円であるが、1件が1,000万円という高額の影響を強く受けており、1,000万円の損害額がなければ、平均値は62.2万円（560万円÷9＝62.2万円）となる。したがって、どの程度の損害が頻繁に発生するかを把握するには、代表値としては、平均値（156万円）よりも、中央値（65万円）や最頻値（40万円）を使用の方が適当である。ただし、損害額1,000万円の数値は、発生頻度が低くても、高額の影響が起これることを示している。

●P. 70 ③標準偏差（Standard Deviation） 12行目と最下段

誤	259万円
正	<u>236万円</u>